

期会を開催し、これを機に解散しましたが、新しく有志の会として鳥友会（朝日26）を発足して、第1回鳥友会を行い、登録会員29名の内19名の出席を得ました。人数は減少致しましたが、より深い絆を確認し、お互いの健康を喜び合って有意義な発会式が行われ感動した次第です。
（小森 学）

昭和二十九年卒 二一九会

発起人の皆さんの呼び掛けで、昭和37年に第1回同期会を開催して以来50年間休まず続けています。はじめの頃は遠方からも出席し易い元日に二九会新年会を開催して、「正月に会おう」が仲間の合言葉でした。更に岡山では、毎月第2土曜と決めて、月例



平成23年5月8日
岡山プラザホテル 参加者40名

会を長く続けメンバーの仲の良さにまわりの人も感心していました。そのうち東京・大阪地区でも面倒見の良い世話人を中心に同級生が集まり、二九会活動が始まり、活発になっていきました。以来地区相互の交流を深めながら、周年行事等は合同で実施し、普段の活動は三地区で各々益々活発に行っております。
（植月 達明）

昭和三十年卒 朝日三〇会



平成23年5月25日
伊勢志摩ロイヤルホテル 参加者42名

三〇会恒例の修学旅行は、今年には関西地区の担当で、5月25、26の両日、風光明媚な矢湾を望む伊勢志摩ロイヤルホテルに、全国各地から42名の参加を得て行われました。懇親会では当地名物の伊勢海老やあわびなどの海の幸に舌鼓をうちつつ歓談。二次会も久しぶりの再会に語り合うもあり、カラオケに興じる

もありで、楽しい時を過ごしました。来年は岡山地区担当で、岡山県牛窓で開催されることになりました。
（犬飼 敏明）

昭和三十四年卒 岡山朝日一〇期会

70歳の節目に、互いの今年の健康を祈って新年会を開催しました。
昨秋、同期の国富権雄君が、

税理士としての40年以上の社会貢献活動で旭日小綬章を受章され、そのお祝いも兼ねた大変おめでたい祝賀会です。国富君の榮譽は、皆にとっても誇らしくうれしいこと。古里の匂いをかきつけた横浜や大阪の友も駆け付け、40名のにぎやかな会になり、飲み放題とバイキングに快適なサー



平成23年1月29日
岡山シティホテル桑田町 参加者40名

ビスで、約2時間喜びあふれる至福の時を過ごしました。今年には母校のお世話をする当番学年。最後のご奉行なので全国の同期生よろしく。
（西田 允保）

昭和三十五年卒 朝日三五会



平成22年11月6～7日
松山道後温泉 参加者32名

気予防、共生について最新の研究を披露してくれ全員が傾聴し、バス旅行の良さが発揮されました。初日は内子町の古い町並みを散策。
翌日は朝一番に坂の上ミュージアム、来島海峡をみながら大山祇神社、平山郁夫美術館を見学観覧しました。見たいところを割愛してぎりぎりのスケジュールでしたが、2日間一緒に楽しく過ごせた事だけは間違いありません。
（児島 高義）

昭和三十七年卒 朝日三七会

私たち三七会は今年度が卒業50周年になります。

皆が元気なうちに開催しようとして、地元の前から準備してきました。母親の介護をかねて東京から来てくれた人、出張の途中に岡山へ降りた人、すべての仕事を無事やり遂げた人みんな自慢話はありません。

ただただ昔を懐かしく思い雑談に、笑い声に終始していました。
亡くなった人約40名に全員で黙祷をし、その人の学生時代の若い顔を思い出しました。今年には原発事故や津波などかつてない災害に見舞われました。生きていることが幸せなのか憂鬱なこの頃です。時間制約がありバラバラの

三五会は5年ごとに修学旅行と称し、一泊旅行を実施しています。
今回、定番の京阪神から趣向をかえて松山道後温泉とし、岡山からバス仕立てで瀬戸大橋、しまなみ街道経由、帰岡のコースを設定。卒後50周年、古希祝いをうたい文句に参加者を募り、関東、近畿からも多数参加者があり一安心。
バス車中での近況報告の折り、数日前に級友が癌で逝去との報告があり、癌の話題に心臓研究権威の菅弘之君が病